

「国際野外の表現展」 作品制作、参加のお願い。

協同制作 「比企へのエチュード」

--- 造形ノートによる風景再見 ---

住みやすい土地というものは、古い歴史をもつものです。このたび「国際野外の表現展」が開催される比企においても、様々な意味深い歴史があると伺っています。

歴史とは、実に人の好奇心を誘うものですが、その教訓はきわめてクール、冷徹に受け止めなければなりません。なぜなら過去を知り過去の情動に流されることなく、新しい歴史を築いてこそ、私たちも又、わずかながら歴史を刻むことができるからなのです。

二千年たっても怨恨の輪廻からのがれられず、歴史を学ぶことが、歴史に学ぶことに露ほどにもならないという

教育の偏向、大人たちのウラミツラミを無垢なる子供たちに歴史と思わせる愚行を、どうやってこの丸い地上からなくすることができるのでしょうか？

私達は、こんな時代ゆえに、歴史の一断片をもって、限られた地域を見るだけではなく、宇宙や天空の視点に自らを映し、この比企を見つめてみたいものです。

つまり生き物としての孤独な直感で、この繰り返しあらわれる丘陵の連なりの向こうに、天空と平行する大地の広がりを感じ、空が知る丘陵の果てに自らの思いを馳せることは、たぶんいにしへの昔より、この地に立つ

誰もが経験する、極めて自然な感覚のように思えてくるのです。

そう考えると、国際性とは、海に面することよりも、どこまでも続くと思われる大地の広がりにより、目覚めるものなのかも知れません。

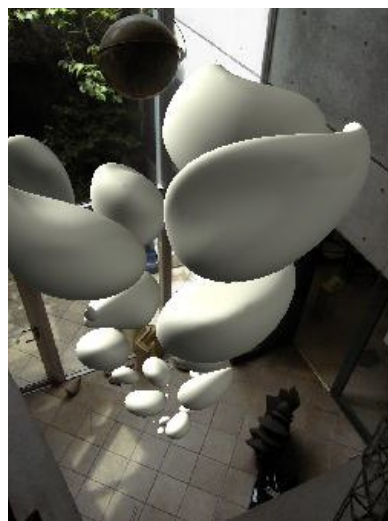
此の丘と空、その彼方と此方の狭間に芽生える、かけがえのないイメージにふさわしい、新しい国際的造形表現を模索するため、皆さんの自発と御協力をお願いいたく、下記ような企画を考えました。どうぞ、ふるって御参加ください。



造形ノート



造形ノートのレンダリング



背景と合成したレンダリング

「比企へのエチュード」

-- 造形ノートによる風景再見 --

この造形ノートとは、立体作品制作のための簡潔な立体データ（ex.DXF 3dface）でデジタルデータで書かれています。音楽で言えば、演奏者の解釈が期待される楽譜のようなものです。今回の企画は、この楽譜のような設定の造形ノートをつかって、比企の実際にある空間に立体作品を設置してみようという試みです。市販の3D- CGソフトが扱えれば誰でも参加できます。もちろん、今回は皆さんで仮想的に空間設置を試み、そのレンダリングのプリント出力を会場に展示することによって、今一度、比企のもつ野

外空間の表現性を探り、環境との調和を模索しようというわけです。デザイナーの用意した立体作品を、各自が持ち寄った比企の映像空間のなかに、自由な解釈で質感や色を設定し表現してみようという試みなのです。

いかにその気候風土によって作品の表情が変わるか。どのようにすれば、その固有の空間にふさわしい作品を定着できるのかを、皆で表現しあって、鑑賞し意見交換していくという、新しい試みです。

虎視眈々とした、一時の権力や富の集中による地域開発ではなく、柔らかい持続の中で、森や林のように坦々と、一定の広がり、包容力のある地域性を築き上げたいと考えるのは、きわめ

て自然で、この比企にかかわる誰もが、いつも風や土の香りとともに感じることなのではないでしょうか。

この試みが持続し、互いにのんびりと楽しみながら、年月をかけ、制作を通じて多くの人々とのコミュニケーションを築き、その過程そのものが、比企の環境づくりへとつながるでしょうか？、この出会いによって、そんなきっかけをつかんでいただければ、幸いです。

（詳細は下記 URL を御覧下さい。順次情報を更新してゆきます。）

COMA DESIGN STUDIO

<http://www3.big.or.jp/~coma/>

石垣 健